

第 3 回岐阜サマー・サイエンス・スクール(GSSS1997)

DAY 1 : 平成 9 年 8 月 5 日 (火曜日)

開校式



開校式の様子です。

末松安晴先生からこのサマー・サイエンス・スクールの意義などのお話を聞きました。

また、多くの来賓の方から、皆さんへの励ましのお言葉も頂きました。

講義 1



最初の講義です。末松安晴先生の「通信の話」です。世の中で広く使われ、世界をつなぐ大切な通信ネットワークの中心となっている通信の歴史と、現在の様子についての講義です。

実験などを交えながら、最先端の技術を分かりやすく教えていただきました。

生徒の皆さんも真剣にメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。



入浴を終了したものからロボット展やインターネット体験をしました。

DAY2：平成9年8月6日（水曜日）

講義2 『生命の不思議』 東京大学教授 軽部 征夫 先生



- ・ 生命はどのようにして誕生したか。
- ・ 生命の設計図はDNAだ。
- ・ 生物の進化はどのようにして起こったか。
- ・ 恐竜を生きかえらせることができるか。
- ・ クローン羊の誕生は何をもたらすか。

など、生命の不思議さについてやさしく説明されました。



茶運び人形は、日本人が考えた動きで表情を出すロボットです。

この実習では、電気回路のしくみや動力を伝える仕組みを学習しながら楽しいポーターロボットを作りました。

臨時講座



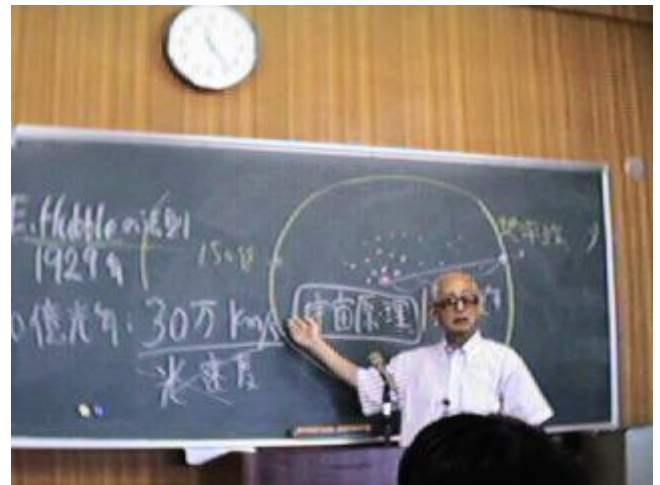
中津川鉱物博物館の方々による鉱物講座



ポーターロボットが完成していない人たちが、最後まで頑張っていました。

DAY3：平成9年8月7日（木曜日）

講義3 『ビッグバン宇宙とわたしたち』 放送大学長 小尾 信彌 先生



私たちの宇宙は、およそ150億年前に爆発的に誕生し（ビッグバン）、それ以来今日まで膨張を続けています。

美しい天体写真を見ながら、現代の科学や技術が解き明かしているビッグバン宇宙と、私たちがどのようにかかわっているのか考える講義内容でした。



扇風機製作の歴史をビデオにて学習しました。
製品開発における苦労や工夫話などを聞きました。
心に残った言葉『真剣に考える人には女神が微笑む』

DAY4：平成9年8月8日（金曜日）

講義4 『進化するロボット達』 名古屋大学教授 末松 良一 先生



日本はロボット王国と言われています。なぜロボット王国になったのでしょうか。まず江戸時代のからくり人形と西欧の自動人形を比較して、日本人と欧米人のロボットに対するイメージの違いを学びました。人間の進化に比べ、ロボットの進化はまだまだ初期段階です。現在活躍しているロボットを見ながら、これからの進化を考えてみました。

選択実習A 『ロケットを飛ばそう』 日本モデルロケット協会会長



日本ロケット開発の第一歩は小さなペンシルロケットでした。今回は、手作りロケットの基礎であるロケットキットを用いて、モデルロケットを製作し、実際に飛行実験をしました。ロケット開発の第一歩を体験できました。

選択実習B 『パソコン通信に挑戦』 東京工業大学助教授 渡辺 正裕 先生

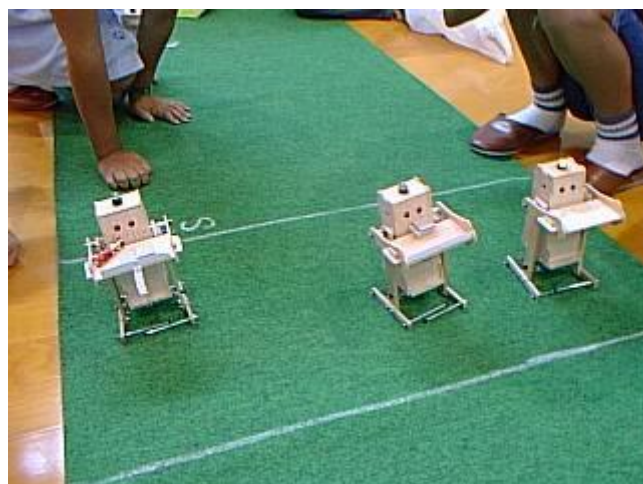


現在、世界中のほとんどの国がパソコン通信のネットワークで結ばれ、情報はすばやく伝達されるようになっていきます。

簡単なパソコンネットワークから世界を結ぶパソコン通信まで、最先端のパソコン通信の世界を体験できました。

DAY5：平成9年8月9日（土曜日）

ポーターロボット交流会



自分で作ったポーターロボットの製作発表会をしました。
末松先生を囲んでの製作の苦労や工夫の発表をしました。

閉校式（終了証書授与式）



閉校式です。これからの皆さんに対するメッセージが多くの人から送られました。
これからも、今の気持ちを持ち続けて下さい。